



進路情報を集めよう



6/30(3年生～7/1)に、**進研模試**が行われました。結果の返却は夏休み明けとなりますが、全国との差を痛感した人も多いかもかもしれません。しかし、安易に志望校を下げず、夏休みの頑張り、何とか食らいついて行って欲しいと思います。

夏休みは、全学年で三者面談が予定されています。目標とする進路についての情報は、基本的には**自分で取り入れる**よう努めましょう。そして、これも学力の一つだと肝に銘じておいてください。

1、2年生は、まだ特定の大学に絞り込まずに、選択の幅を広げておくことが大切です。自分の興味関心、適性にあった大学はどこか、将来の職業選択も含め、いろいろな角度から考えておきましょう。そのためには、各大学が行う**オープンキャンパス**への参加が有効です。ぜひ計画を立てて積極的に参加しましょう。それも、複数回企画して、比較するのが望ましいと思います。また、WEBの場合もありますが、上手に併用してください。

3年生は、まずは、**学習時間を確保**することを考え、**質・量ともに充実**した学習に取り組むことが大切です。もし、学習がある程度計画的に進んでいて、オープンキャンパスへの参加が、**学習のモチベーションをあげる**ことにつながるという確信があるのであれば、それも良いと思います。しかし、学習の本質は、その学問へ向かう姿勢ということから考えれば、**学習優先**です。

一方、3年生で学校推薦型または総合型選抜の利用を考えている生徒や、これまでその大学のオープンキャンパスに参加しなかった生徒については、参加は検討の余地があります。参加の場合には、その大学の学部・学科の特徴、入学生に求める人物像(アドミッションポリシー)などの重要な情報をしっかり取り入れてきてください。そして、それらを反映させて、「志願理由書」や「エントリーシート」が作成できるよう、準備を進めておきましょう。

医療スタッフ体験、大学の公開講座、各種セミナーなど、夏休みには、いろいろな大学、上級学校が企画する体験学習講座などがあります。関連する分野に興味のある生徒や、将来そうした職業に就くことを考えている人は、ぜひ、3年生になる前に、積極的に参加してみてください。

いずれの場合も、**原則的に授業(課外)が優先**です。授業日のオープンキャンパス参加は、公欠ではなく、欠席となります。事前に担任、保護者とよく相談をしておきましょう。



「共通テスト」まで180日 (令和5年7月16日時点)

大学受験を目指すとき、大きなカギとなる「3年夏休み」が始まります。

大学受験を語るときに、「夏を制する者は受験を制す」とか、「夏休みは天王山」などというものがあります。その理由として言われているのが以下の3つです。

- ①学習時間をまとめてとることができる、
- ②勉強のクセをつけてれば、秋以降の飛躍につながる、
- ③夏休みは「差がつきやすい」。

いずれにしても、基礎・基本を定着させ、弱点を強化するために、時間をかけることができる大きな機会です。受験に焦りや不安を感じている生徒が多いと思いますが、今は、自分を信じ、行動に移すときです。

まずは、目標を明確にし、夏休みの、1か月の、1週間の、1日のそれぞれの目標を具体化し、日々、そのノルマをこなしていくことが大切です。(その際、土日は、できれば計画の修正に利用するのが良いと思います。)

学習の絶対量も大切です。しかし、今更ながら、学習の習慣をつけること、長い学習時間に耐える精神力と体力を保持することが、今後の躍進につながります。**何時間やったか、何をやったか、**にこだわって欲しいと思います。

3年生の夏休みの学習に対する考え方として求めたいことは、以下の6つです。

①基礎基本の大切さを改めて意識する

入試は、ほとんどの場合、満点である必要はなく、**基礎資本の定着**が、それ以後の伸びにもつながっています。

②学習のバランスを考える

得意教科を伸ばすことと、苦手教科を克服することの、勿論どちらも大切ですが、限られた学習において、その**バランス**を考えてください。苦手教科は伸び代が大きいという面もあります。

③模試の問題を上手に解き直す

模試の結果によって、全国レベルを痛感するだけでなく、弱点を見つけ、その**対策**をすることが受験勉強です。その際、完璧さを追求し過ぎないことも大切です。

④入試過去問題を見ておく

現時点の目標となる入試過去問題を見ておき、**目標地点を体感**しておくことも大切です。しかし、本格的に取り組むのは、多くの場合秋以降でよく、国公立大学のほとんどの大学は、共通テストがB判定以上であれば、個別は60%程度で合格に達します。これも、完璧さを追求し過ぎないことです。

⑤志望校の選考を本格的に始める

憧れの大学と実力相応校の差異をどう考えるかです。入試方法が自分に合っていれば、総合型や推薦型の入試を考えることも良いと思います。しかし、第1志望がだめならどうするか考えておくことも重要で、これも**危機管理**です。

⑥最新の入試情報を入手しておく

現時点で、第1志望を変える必要はありません。しかし、国公立大・私立大ともに**複数の出願パターン**を作成しておくことも大切です。入試情報は、2024年募集要項で最新情報を入手しておきましょう。

3学年対象・「古い赤本」無料配付会

<日時> 8月1日(火) 12:30~13:30 (雨天の場合は順延)

<場所> 生徒昇降口前の広場

<配付物> 2018年版の「赤本」等の大学入試過去問題集

今年も、進路指導費で購入した赤本等の大学入試過去問題集の中で古くなって処分するものを、3学年を対象に無料で配付します。8/1(火)の3校時終了後に実施します。3年生の皆さん、是非、志望校の赤本を手に入れ、モチベーションを上げてください。

グローバリゼーション(グローバル化)



最近の小論文キーワードの一つに「**グローバリゼーション**」があります。今回、これを取り上げたいと思います。

「**グローバリゼーション**」とは、経済・文化・政治など様々な分野の活動とその影響が、国家や地域の境界を越え、地球規模で一体化していく現象を言い、**グローバル化**とも言われます。一方、多くの社会問題の原因ともなり、反**グローバリゼーション**の運動も起きています。

冷戦が終結して旧社会主義国や途上国に市場経済が広がり、インターネットなどの発達と共に、**グローバリゼーション**が世界に広がりました。最も顕著なのは経済分野で、多国籍企業が世界の主要産業を支配し、巨大な金融機関が国境を越えて大量の資金取引をするようになりました。特に、巨大IT企業の影響力が強まっており、アメリカの**Google**、**Apple**、**Facebook**、**Amazon**が代表格で、その頭文字から「**GAF A (ガーファ)**」と呼ばれます。文化面でも、アメリカ生まれの外食産業や映画、音楽が世界を席卷し、文化の画一化が進みました。政治面では、国際ルールが多数作られて国家の主権が制約され、一方では、**NGO (非政府組織)**の活躍が目立つようになりました。

このように「**グローバリゼーション**」は、世界規模の結びつきを強めた反面、格差の拡大、自然環境の悪化、地域固有の文化の破壊など負の側面ももたらし、最近では、反**グローバリゼーション**の動きが一部の国の保護主義政策、移民・難民への反発などの形になって現れてきており、**イギリスは2020年1月末にEUを離脱**しました。**新型コロナウイルス感染症の世界的拡大**は、**グローバリゼーション**による国境を越えた人の移動が影響しているとも言えます。

いかがですか。このように、**グローバリゼーション**の考え方は大切ですが、そのことによる功罪もあります。これを、日本、福島県、郡山とより小さく考えたときにはどう考えれば良いのか、**自分なりの考え**を持ちたいものです。

(参考 第一小論 Net 小論文入試情報ライブラリー <https://daiichi-shoron.net/03library-3.html#>)